

August 28, 2019

【前日の為替概況】ポンドドル、英野党連合の合意なき EU 離脱阻止を受けて 1.2310ドルへ

27日のニューヨーク外国為替市場でドル円は反落。終値は105.75円と前営業日NY終値(106.12円)と比べて37銭程度のドル安水準だった。欧州時間に「中国は自動車購入制限の緩和や撤廃を検討」との一部報道が伝わると時間外のダウ先物がプラス圏に急浮上。ドル円にも買い戻しが入った。NY市場に入り、8月米消費者信頼感指数と8月米リッチモンド連銀製造業景気指数が予想より強い内容だったことが分かると、一時106.07円付近まで値を上げた。

ただ、上値では月末絡みの本邦輸出企業の売り注文が厚く106円台は維持出来なかった。米国株相場の失速や米長期金利の低下に伴う円買い・ドル売りも入り、一時105.66円付近まで下押ししている。

ユーロドルは続落。終値は1.1090ドルと前営業日NY終値(1.1102ドル)と比べて0.0012ドル程度のユーロ安水準だった。欧州時間に一時1.1116ドルと日通し高値を付ける場面もあったが、デギンドス欧州中央銀行(ECB)副総裁が「長期的に低金利が続くだろう」との見解を示すとユーロ売り・ドル買いが優勢に。予想を上回る米経済指標も相場の重しとなり、一時1.1086ドルと日通し安値を付けた。

ユーロ円は反落。終値は117.30円と前営業日NY終値(117.83円)と比べて53銭程度のユーロ安水準。23時過ぎに一時117.74円付近まで上げたものの、東京時間に付けた日通し高値117.89円や欧州時間に付けた117.77円を上抜けることは出来なかった。ユーロドルやドル円の下落が相場の重しとなり、1時30分過ぎに一時117.23円付近まで値を下げた。

ポンドドルは一時1.2310ドルと7月29日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。英野党連合が「英国の合意なきEU離脱を阻止するために協調行動を取る」と伝わると、全般ポンドを買う動きが広がった。各党は下院の夏季休会が終了する来週にも、ジョンソン英首相に10月末の離脱延期をEUに要請するよう強制する法案の成立を目指す見通しだ。一方、ジョンソン氏は前倒し総選挙を含む対抗策で応じる可能性があるという。

【本日の東京為替見通し】ドル円、第13回米中通商協議に向けたヘッドラインに要警戒か

本日の東京市場のドル円は、第13回米中閣僚級通商協議の実現性や期待感への思惑から神経質な展開が予想され、関連するヘッドラインに要警戒か。

26日にトランプ米大統領が「中国が昨夜、我々の通商チームに電話し、テーブルに戻ろうと言ってきた」と述べたものの、中国外務省は「米中の電話協議の話は聞いていない」と否定しており、米中通商協議の米国側の代表であるムニューシン米財務長官も電話に関しては曖昧な態度だったことで、第13回米中通商協議の再開の可能性や期待感がやや後退している。

そして、中国人民銀行がドル・人民元(オフショア)の11年ぶりの7.17元台への上昇を黙認していることも、米中通貨安戦争への警戒感を高めている。本日も中国人民銀行による中国人民元への対ドル基準値やドル・人民元(オフショア)の動向に要注目となる。

林鄭香港行政長官が香港でのデモに対して我慢の限界と述べたことで、中国政府による「反テロリズム法」を盾にした武力鎮圧への警戒感が高まり、中国外務省は、G7サミットの成果文書で、香港の自治を擁護し平静が呼び掛けられたことに対して、強い不満と断固とした反対を表明している。トランプ米政権も「米国・香港政策法」を盾にして香港問題を通商協議の俎上に上げていることで、第13回米中通商協議に対する楽観的な見方がやや後退しつつある。

茂木経済再生相は、9月の日米首脳会談で締結予定の日米通商合意では、自動車関税を巡る懸念を払拭した。トランプ米大統領は、日本からの輸入自動車に対する25%の追加関税について「私が望めばできるが、現時点では考えていない」と述べたものの、11月13日が期限となっている「1962年通商拡大法第232条に基づく措置」は留保しており、日米貿易不均衡是正を巡る交渉カードとして温存された形となっている。

ドル円のテクニカル分析では、一目均衡表・転換線の105.60円が攻防の分岐点となっており、23日の陰線に対して、26日の「切り込み線」で切り返し、27日に陰線で反落しており、本日の3手目で23日の陰線を上回ることが出来なければ、下落トレンドが再開する可能性が高まることになる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

○15:00 ◇ 7月独輸入物価指数（予想：前月比横ばい／前年比▲1.7%）

○15:00 ◇ 9月独消費者信頼感指数（Gfk 調査、予想：9.6）

○17:00 ◇ 7月ユーロ圏マネーサプライ M3（予想：前年比 4.7%）

○20:00 ◇ MBA 住宅ローン申請指数

○23:30 ◇ EIA 週間在庫統計

○29日 01:20 ◎ バーキン米リッチモンド連銀総裁、講演

○29日 02:00 ◎ 米財務省、5年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

27日 07:16 オア NZ 準備銀行(RBNZ)総裁
「前回の 50bp 利下げは国内懸念によるもの大きい」

27日 10:50 麻生財務相
「緊張感を持って市場動向を注視する」
「足元の為替水準に関してはコメントしない」

27日 11:20 林鄭香・香港特別行政区行政長官
「暴力による訴えは政治解決につながらず、デモによる暴力行為には我慢の限界」
「香港政府だけで現状に対処できる」
「警察は最低限の武器しか使用せず、政府は話し合いの場を設けるつもり」

27日 11:38 茂木経済財政相
「米国との交渉は、自動車業界にとって懸念となる形での決着にはならない」

27日 12:10 デベル RBA(豪準備銀行)副総裁
「自由貿易体制への脅威が重大なリスク」
「経常赤字は対 GDP で縮小し続けている」
「金利の下限は 0%から 0.5%前後となる可能性」
「豪ドルは一定程度下落したが、更に下げる可能性も」
「豪ドルの一段の下落は豪経済の助けに」

27日 14:43 ロウハニ・イラン大統領
「米イラン協議に向けて、米国が全ての制裁を解除するのが第一段階」
「イランは決して核を保持しない」

27日 15:31 モスコビシ欧州委員(経済・通貨担当)
「英国は精算金を依然として支払うべきだろう」
「合意なき離脱が選択肢の一つである準備をする必要」
「合意なき離脱が優先手段だとは思っていない」

27日 16:07 ザリフ・イラン外相
「米国とイランとの首脳会談は想像できない」

27日 16:20 中国外務省
「米中の電話協議の話は聞いていない」
「米国が間違った行動をやめ、話し合いの状況を作ることをお願い」

27日 18:33 イタリア野党・民主党(PD)当局者
「与党・五つ星運動との連立協議は崩壊するリスク」

27日 19:13 ユンケル欧州委員長
「本日午後にボリス・ジョンソン英首相と電話する予定」
「EU は合意なき離脱シナリオ回避のために可能な限り行動する」

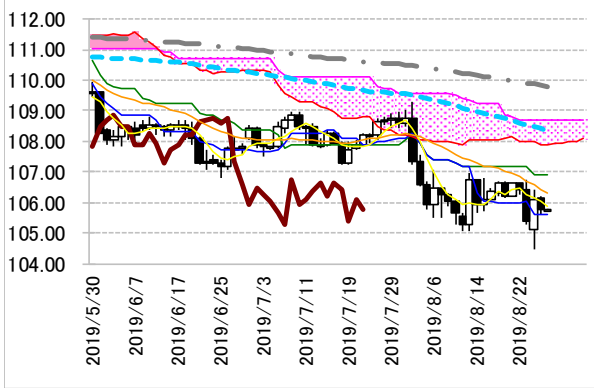
27日 20:32 ボルトン米大統領補佐官(国家安全保障問題担当)
「中国の債務外交は深刻な問題」
「米国は中国への投資を見直している」

27日 21:08 デギンドス ECB 副総裁
「金融政策は市場次第ではなく、データ次第」
「市場期待からのサインが我々の政策判断と置き換えることはできない」
「経済の立ち位置や進む場所についての市場の見方を得ることは重要」
「長期的に低金利が続くだろう」

28日 01:43 トランプ米大統領
「FRB は長期に渡り判断を誤り続けた」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

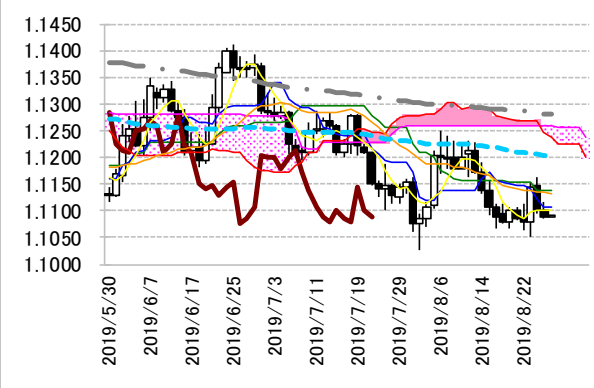


<ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、23日の陰線に対して26日の「切り込み線」で切り返しており、反発の可能性が示唆されている。本日の3手目で23日の陰線を埋めることが出来なければ下落トレンドが再開する。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下回った場合は手仕舞い。

| | |
|---------|---------------------|
| レジスタンス1 | 106.89(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 105.75 |
| サポート1 | 105.60(日足一目均衡表・転換線) |
| サポート2 | 104.46(8/26 安値) |

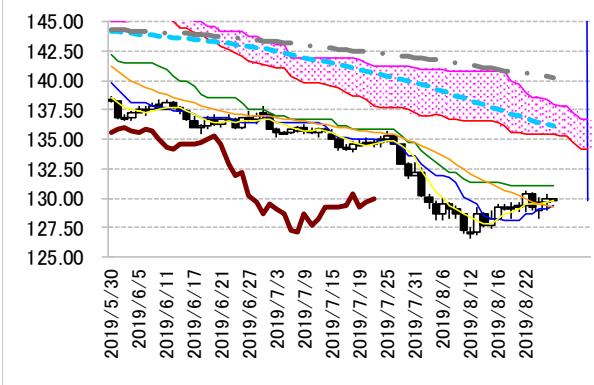


<ユーロドル=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。「被せ線」、2手連続陰線により反発の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|---------------------|
| レジスタンス1 | 1.1139(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 1.1090 |
| サポート1 | 1.1027(8/1 安値) |

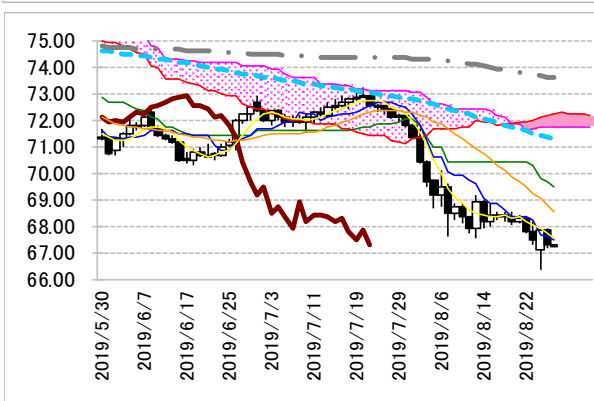


<ポンド円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、23日の陰線に対して差し込み線、2手連続陽線で切り返しており、反発の可能性が示唆されている。本日の3手目で23日の陰線を埋めることが出来なければ下落トレンドが再開する。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|---------------------|
| レジスタンス1 | 131.11(日足一目均衡表・基準線) |
| 前日終値 | 129.98 |
| サポート1 | 129.43(日足一目均衡表・転換線) |



<NZドル円=21日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。26日の陽線に対して27日は被せ線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、21日移動平均線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

| | |
|---------|-----------------|
| レジスタンス1 | 68.56(21日移動平均線) |
| 前日終値 | 67.27 |
| サポート1 | 66.32(8/26 安値) |

